

・ 5月 目標が達成できるように励ます。特に友達を多くつくり仲よくするように話した。

・ 5月30日 自己評価後担任から「友達と楽しそうに過ごす姿が大変印象に残っています。学校が楽しくなりましたか。勉強も楽しくなるといいですね。」と記入し、「がんばれ」と言葉をかけた。

うなずきながら聞いていた。

・ 6月 自分が達成可能な目標で、自分に今、必要なものは何かを考え目標を設定するように支援した。

・ 6月30日 自己評価後担任から「やや勉強不足です。やる気を出すことこそがT子さんにとって最も必要なことではないでしょうか。来月の頑張りに期待します。」と記入。T子はコメントを読むのを楽しみにしている様子である。

・ 9月 夏休みも終了し、中学生生活の総仕上げである2学期、身近な事柄を点検し、目標を設定するように支援した。

T子は次のような具体的な目標を設定した。

- ・ 学習課題を忘れずに、授業で少なくとも2回は手を挙げ、発表する
- ・ 起床時間を守り、遅刻をしない

9月の自己評価は、両方の目標に対して「A」であった。

「学級通信」

広く家庭によさをアピール

6月13日 T子は、教室に花を持参した。初めてのことであった。お礼を言うとともに、「教室に、花を飾ってくれた人」という題で6月の学級新聞に載せた。

恥ずかしそうな顔をしながらも、何度も読んでいる姿が、印象的であった。その後、毎月のように花を持ってきては、教室に飾ようになった。

「1分間スピーチ」

発表に自信を付け、友達によさを発見

・ 6月24日 「将来の夢」という題で発表した。声が小さく自信がなさそうであった。

しかし、皆の前で堂々と発表できたことを賞賛し、「次回は自信をもって声を出そう。」と支援した。黙ってうなずいていた。

・ 9月2日 「友達」という題で2回目の発表であった。

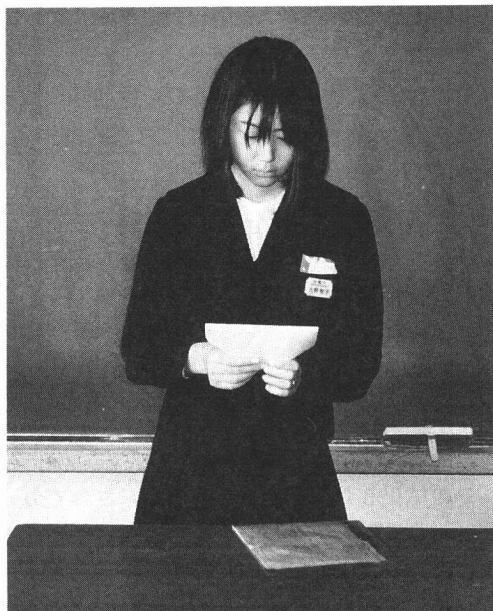
「友から学ぶことは、大変多い。3年生になってから友達が多くできた。友達とは本当にいいものだ」という内容であった。

発表の声も6月の時とは違い、皆に聞こえるように話した。自信も付いてきたようだ。

発表後、「最近、学校へ来るのが楽しい」と言った。

・ 10月19日 3回目の発表は「部活動について」であった。

「絵が好きで、いろいろな絵を描くコツを覚えていくことが楽しく、美術部に入っている、最後まで頑張りたい」という内容であった。



(友達によさを発見した1分間スピーチ)

T子が、美術部に入って最後まで一生懸命取り